

現状の課題

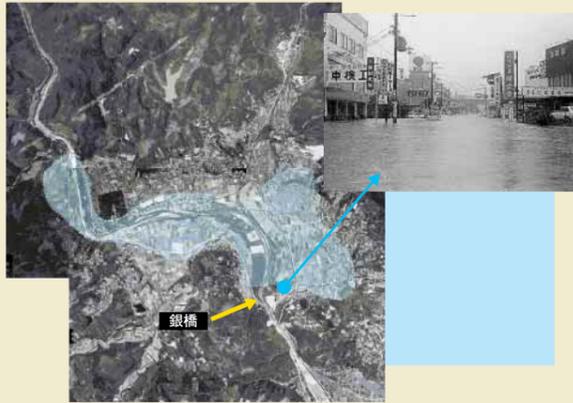
○猪名川の上流部は、京阪神地域のベッドタウンとして急速に開発が進行しています。



銀橋を含む狭窄部と上流の市街地(下流から上流を望む)

○銀橋狭窄部上流域の多田地区では、昭和28年・35年・42年・58年など、水害が頻発しています。

■狭窄部上流の浸水常襲地帯
(多田盆地・昭和58年9月出水の浸水実績)



狭窄部の開削は下流への流量増により破堤の危険度を増大させます

狭窄部の開削は当面できません

整備内容

検討項目

⑫ 既往最大規模の洪水に対する浸水被害の解消を目標として狭窄部上流における対策を検討します。

銀橋

① 既設ダム の運用変更により、治水効果を検討します。

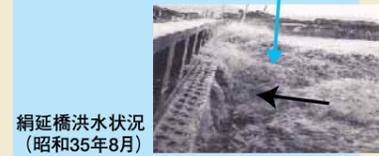
一庫ダム

現状の課題

○狭窄部下流の山地部から平地部へ流れ出る箇所に、無堤地区が存在します。



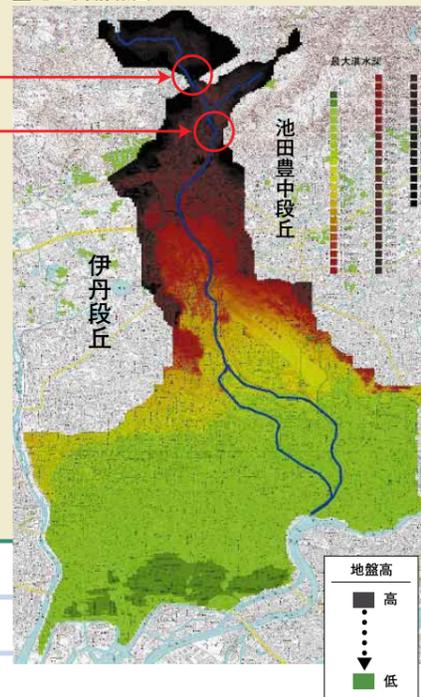
池田市木部町中之島付近(昭和35年8月洪水時)



絹延橋洪水状況(昭和35年8月)

○ここからの浸水は地形上、伊丹地域から大阪平野北部へと広がることが予想されます。

■地盤高情報図



無堤地区の築堤は下流への流量増により破堤の危険度を増大させます

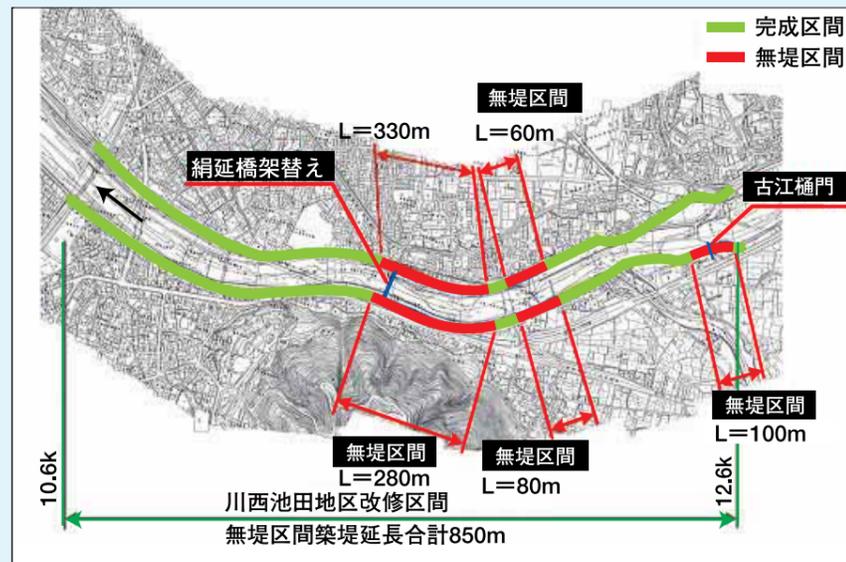
下流の河川整備の進捗状況などを見て判断するのが原則です

整備内容

実施項目

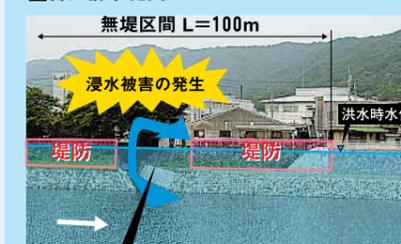
○既に一連区間の整備が進められてきており、ごく一部の区間のみが未整備である区間等については、速やかに事業を完了し、浸水被害の軽減を図ります。

⑬ 無堤区間が残る川西池田地区で築堤を実施します。



関連事業の必要性

■古江排水樋門



築堤後樋門がなければ洪水時に水路部から宅地に浸水する。

■絹延橋架替



川の水があたり、越水する危険性がある。

築堤位置

現状の課題

○南海大地震発生時には、約2時間で、津波が神崎川・中島川河口まで到達すると予想されています。

津波来襲時の情報提供を強化します

整備内容

実施項目

○津波来襲の危険性と対処の仕方などを示した津波ハザードマップの作成・公表を支援します。

流域全体

○周辺住民への津波に関する広報・学習等を行います。

流域全体

○津波情報が発表された場合における河川利用者への呼びかけ及び樋門等の迅速な操作の為に体制整備を行います。

流域全体